



第30期 中間株主通信

2019年9月30日
株式会社ラ・アトレ
代表取締役社長 脇田栄一

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社の第30期上期における取り組みとして、新築不動産販売部門においては、土地企画販売の「大森北プロジェクト」及び「東十条プロジェクト」、訪日外国人向けの長期滞在型ホテル「LA ホテル福岡」の引渡し完了したことに加え、「LA ホテル札幌」やファミリー向け分譲マンション「ラ・アトレレジデンス新百合ヶ丘」を竣工いたしました。再生不動産販売部門においては、販売価格が1億円を超える「100Million-Renovation」及び2億円を超える「200Million-Renovation」のプレミアムリノベーションマンション2シリーズの引渡し順調に進捗し、販売単価及び戸数ともに前年同期を上回りました。不動産賃貸事業においては、安定的な収益源として4月に光ハイツ・ヴェラス運営の高齢者向け施設2棟を取得いたしました。



以上の結果、当社の第2四半期における経営成績は、売上高5,157百万円、営業利益664百万円、経常利益534百万円、当期純利益359百万円となりました。また、総資産は中期経営計画期間の中間目標である20,000百万円超えを早期に達成いたしました。

第30期下期における取り組みとして、新築不動産販売部門においては、7月に都市型店舗開発「A*G中目黒」の引渡し完了しており、当第3四半期に収益貢献する見込みです。同シリーズでは成城学園前、高円寺、六本木、神宮前2のプロジェクトが順調に進行しているほか、全室バリアフリー化に対応した「LAホテル京都2」を11月に開業する予定です。また、重点エリアと位置付ける福岡においては、当社で初となる複合オフィスビル「LA博多」、「LAホテル福岡2」及び「LAホテル福岡3」などの複数プロジェクトを推進しております。再生不動産販売部門においては、都心エリアの港区、中央区、千代田区を中心に「100Million-Renovation」及び「200Million-Renovation」シリーズの仕入れ及び販売の取り扱いを拡大し、引き続き注力してまいります。不動産賃貸部門においては、ヘルスケア住宅事業分野の投資規模拡大を目的として、世田谷区の高齢者住宅施設を10月に取得するとともに、引き続き稼働率の高い優良な不動産を積極的に手掛け、拡大していく方針です。

なお、9月12日付で業績予想の修正に関するお知らせを公表し、2019年12月期の連結業績見通しについては、売上高9,780百万円、営業利益1,420百万円、経常利益1,150百万円、当期純利益792百万円を見込んでおり、3期連続で連結経常利益の過去最高値を更新する計画を立てております。

株主還元

配当につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益をベースとした配当性向を「10%以上20%目標」とする利益還元を目指すことを基本方針としております。2019年12月期期末配当金は、1株あたり17円とする計画としておりましたが、業績予想の上方修正に伴い、**1株あたり28円**とさせていただきます。

株主優待制度につきましては、当社ホテル開発事業と株主優待制度の関連性を高める目的として、従来のQuoカードから、11月開業予定の長期滞在型ホテル「LAホテル京都2（ホテル名：RANDOR Residential Hotel Kyoto Suites【仮称】）」の宿泊優待券へと、株主優待制度を変更いたしました。毎年6月30日及び12月31日現在の当社株主名簿及び実質株主名簿に記載または記録された1,000株以上を保有する株主様を対象といたします。配付時期につきましては、6月30日を基準日とした優待券は9月下旬、12月31日を基準日とした優待券は翌年3月下旬を予定しております。



〔LAホテル京都2〕

当社は、来年2020年に創業30周年という節目を迎えます。2019年からの中期経営計画期間を「再拡大期」と位置付け、これまで掲げてきた「全方位型ビジネスポートフォリオ」をバージョンアップさせた「ラ・アトレ事業ポートフォリオ2ndエディション」とし、協業・提携先との新たなシナジー・事業機会創出を図るなど更なるビジネスの発展及び持続的な企業成長を目指してまいります。

今後も株主の皆様にとって魅力のある企業になるべく、全社一丸となって努めてまいりますので、より一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。